

## 交換留学帰国報告書

記入月日: 令和2年7月28日

氏名: 小田 悠菜

留学時所属&学年:

国際地域学部 グローバルアプローチ専攻 4年

留学先大学	フィンドレー大学
留学先国	アメリカ合衆国
留学期間	8カ月
留学開始一終了日	2019年8月14日 - 2020年3月26日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を  希望します ・  希望しません

月例報告書：公開を  希望します ・  希望しません

### 【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

自身の英語力と母国の日本を客観的に見る力を伸ばしたかったからです。また、長期にわたり異国に滞在することで現地の習慣や文化、歴史を肌で感じたかったからです。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

大学入学後から留学に必要な TOEFL の勉強を始めました。本格的に留学準備を始めたのは3年生前期からです。具体的には、ビザ発行のための申請資料準備や航空券の手配準備などを始めました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

私の留学先大学は TOEFL iBT で一定の点数を獲得していれば現地学生と同じように授業を受講できるという条件だったので、英語で専門科目や興味のある科目を学びたい私の希望に合致していました。留学先の情報は、今まで留学先大学に留学したことがある先輩方に話を伺ったり、留学報告書を読んだりして収集していました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

学部が留学の条件として指定している TOEFL ITP の勉強を頑張りました。規定点数に達するまで 10 回以上は受験していると思います(笑)時間を測って問題を解いたり、苦手な分野を集中的に勉強したり、分からない点は教授に質問しに行ったり、対策をして試験に挑みました。TOEFL iBT は福井にテスト会場がないので、金沢まで受験しに行きました。ITP の勉強の甲斐もあって、iBT の試験は1回の受験で目標点数を獲得することができました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例:助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課の方のサポートや留学を経験された先輩方からのアドバイスがとても参考になりました。私が行った留学先は多くの方が今までに留学を経験されており、情報が手に入りやすく助かりました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

渡航前は国際課の方からいただいた fact sheet を参考に履修する科目を考えていました。渡航後も現地の日本人の教授が履修のお手伝いをして下さるので、スムーズに履修登録をすることができます。また、留学先大学のホームページからも履修可能な授業を確認することができます。科目によっては先修必須科目がありますが、授業を担当されている教授と交渉すれば、大体の授業は履修可能です。

## 【留学中:大学生活や日常生活について】

### A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

田舎の小さな大学ということもあって、学生の方をはじめとても優しく親切でした。また、教授との距離も近く、質問等もしやすい環境でした。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

大学内には、学生が無料で使用できる wifi が完備されており、ネット環境は問題なかったです。学習支援の体制も整っており、チューターシステムや留学生向けのサポートシステムがありました。大学内にはジムがあり、誰でも運営時間であれば利用することができます。定期的にヨガやキックボクシング等の教室が開かれており、学生が楽しく運動できる環境が整っていました。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

日本のサークルのように毎週活動があるわけではなかったため、定期的に活動があるクラブはなかったです。私は、不定期ではありますが、ボランティアクラブやインドとその周辺国の文化を広めるクラブのミーティングへ行っていました。

## B. 授業や勉強

### 1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名):ECON200 : Principles of Macroeconomics ( Samuel Enajero )</li> <li>●時間数/週(単位数): 2.5 時間/週(3)</li> <li>●クラスの学生数: 約 20 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): Cengage というサービスを利用して課題を行いました。また、Top Hat というサービスを利用してクイズを行い、出席も取っていました。※2 つとも有料サービス グループワークはなく、教授が説明するスタイルです。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名):ART100 : Art Appreciation ( Diane Kontar )</li> <li>●時間数/週(単位数):2.5 時間/週(3)</li> <li>●クラスの学生数: 約 20 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 教科書に沿って美術史を習います。講義を聞き、小グループに分かれて意見交換を行います。課題は毎週教科書の特定の部分を読みリアクションペーパーを作成し提出していました。中間と学期末にはレポートを提出しました。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名):MRKT326 : Principle of Marketing ( Jaclyn Schalk )</li> <li>●時間数/週(単位数):2.5 時間/週(3)</li> <li>●クラスの学生数:約 20 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 各週で決められたテーマに沿って課題が出され、授業内ではグループディスカッションやプレゼンテーションを行いました。オンライン授業期間は case study がメイン課題として出されました。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名):BUAD311 : Business Communication ( Janet Greiner )</li> <li>●時間数/週(単位数):2.5 時間/週(3)</li> <li>●クラスの学生数: 約 20 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 主にアメリカのビジネスマナーやメールの書き方について学びます。各国のビジネスマナーについて発表する場面もあり、世界のビジネスについて知ることができました。</li> </ul>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

課題や予習準備を行い、できるだけ授業の内容ができるように努めました。内容が専門的なため、まず日本語で概念を理解してから英語の説明を理解するなど工夫して授業に取り組みました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

専門的な内容の授業は理解することが難しかったので、学校のチューターシステムや教授に質問するなどして分からない点をクリアにできるよう頑張りました。また、留学生専用のサポートシステムを利用して提出物の文法等をチェックしてもらいました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

講義スタイルは担当教授によって異なります。私が受講した講義では講義聴講型よりもディスカッション型の方が多かったです。どちらのタイプの授業も福井大学で受講したことがある授業スタイルに似ており、受講しやすかったです。個人的には、ディスカッション型の授業の方が生徒同士で会話する機会も多く、自分の英語力もより成長できると思いました。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

Janet Greiner 教授の「Business Communication」という授業が面白かったです。教授も異文化に理解のある方で、積極的に留学生の意見を授業の中に取り入れようとしてくださいました。(日本の習慣やルールを説明できるようにしておいた方が良いです。)授業では、主にアメリカのビジネスに必要な挨拶の仕方やメール、履歴書の書き方を教えてくださいました。日本と似ている点、異なる点を知れ大変興味深かったです。また、学内で行われているビジネスセミナー等に授業の一環として参加するので更に実践的なアメリカの就職活動、ビジネスの場を体験することができます。

## C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他( )
部屋人数	(1)人部屋 ※家(寮)に4つの個人部屋がある
寮・アパート名	261 Foulke Ave.(秋学期)、333 Howard St.(春学期)
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input checked="" type="checkbox"/> 食費 <input checked="" type="checkbox"/> その他(週2~3のhouse清掃)
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ( )
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) トイレ、テレビ、シャワールーム、キッチン、棚、洗濯機、乾燥機、ソファ

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学の近くに Walmart があり、週1で大学からシャトルバスが出ています。買い物はそこでほとんど済ませていました。日本食レストランはダウンタウンに1つあります。大学の近くにアジアスーパーもあります。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地では、基本的にクレジットカードを使っていました。大学内に ATM があり、そこから現金を引き出すことができます。銀行開設は行っていません。支出の管理は旅行など大きな出費がある際に記録し、支出しすぎないように注意していました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

ほとんどのものは現地で調達できます。特に持っていく必要があるものはないです。お弁当用のお箸や常備薬、室内用スリッパは持参してよかったと思いました。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝USドル)(例:USドル)

※日本円換算

内容	金額	内容	金額
渡航費	250000	食費	320000
保険代	160000	家賃	550,000
予防接種・ビザ代	56000	教科書代	24000
交際費(外食等)	100000	その他	37000(携帯通信料)

合計: 約 150 万円

※長期休暇中の旅費を除く

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

人と話すときは相手の目を見て、はっきりとリアクションすること、を心がけていました。会話スタイルを現地の方に合わせるよう頑張りました。文化・習慣は人、民族によって様々なので否定せず、受け入れるよう心掛けました。

#### D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

ダウンタウンに病院が1つあります。また、学内にも学生が無料で利用することができるクリニックがあり、薬も無料で提供してくれます。軽度の症状ならばこのクリニックで対応してくれます。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

なし

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

渡航前に必要だった健康診断や予防接種…特になし  
日本から持参した薬…一般的な常備薬

#### 【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど  
私は、この留学を通してアメリカの良いところと悪いところを発見できました。良いところは、一人一人が自分の意見を素直に発言できる点です。アメリカのような欧米国は「個人主義」、日本は「集団主義」などと比較されることが多いです。留学前、私はこの表現をアメリカ人は他人のことをあまり気にかけず、自分の決断に従って行動する人々が多いのだろうと考えていました。しかし、実際は自身の意見を主張した上で他者の意見を聞き入れ、賛同や反対をしていました。確かに日本に比べると個人としての意識は強いかもしれませんが、決して自分の意見と他者の意見を別のものと割り切って考えているわけではないと気づきました。また、生徒の発言に対して先生が必ずポジティブな反応を返してくれることも魅力的でした。意見を発言しやすい環境はこのような相手の意見を肯定する習慣から生まれるのではないかと思います。悪いところは、食べ物を無駄にする人が多いところと街が汚いところです。改めて日本人の「もったいない文化」と「清潔の基準」は世界に誇れる点だと思いました。この「もったいない」という考え方は宗教の違いに起因しているのではないかと思います、日本人と他国の宗教観にも興味を持つことができました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

現地学生と受講していた授業でのディスカッション等であまり発言できなかったことが反省点です。現地学生の中で委縮してしまい、うなずくのが精一杯だったので、次回留学する機会があったら積極的に発言したいです。また、留学先で行う予定だった PBL(課題探究型学習)が計画不十分により、中途半端に終わってしまったことも心残りです。渡航前に自分が行きたい調査内容をしっかりと決めておくべきでした。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

日本の良さを世界に発信していける仕事に就きたいと考えております。同時に、仕事を通して多様な人や文化に触れ自身の価値観を広げていけるように努めていきたいです。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

海外留学をする前にはしっかりと目標と準備をした方がいいと思いました。目標がないと環境の変化や予想外の出来事に対応できなくなってしまうと思うからです。自分が思うように物事が進まなかったり、つらいことがあった時、しっかりと目標があれば踏ん張ることができると思います。そして、ある程度の語学力を付ける、留学先の下調べをするなどの準備も大切だと思います。留学先で身に着けることができる語学力もありますが、語学力がないと受講できない授業や理解できない内容があります。私自身ももっと英単語や現地の情報を知っていれば、より留学期間を楽しめたと思うような部分があります。

しかし、留学をすることは大変意義があることだと思います。留学を通して身に付けられるものは必ずあるので、もし機会がありましたら是非挑戦してみてください。

